



明治期のみならず日本史上に画期をもたらした副島種臣（号・蒼海）の書。書家・石川九楊の精選により、制作時期ごとに3期にかけて公開する。その書から、種臣の「だれも知らない維新」への理想と挫折を読みとることができると石川は説く。明治政府の揺籃期に外務卿や天皇侍講として活躍しながら、既存の枠組みを大きく超脱する書を残した種臣の謎に迫る。

石川九楊賞鑑精選

だれも知らない維新 副島種臣書

2023.10.6 [金] — 2024.1.14 [日]

※11/6・7、12/11・12 展示替えのため閉室 12/29・30・31、2024.1/1 休館日

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 特別展示室(御小書院)

開館時間 9:30—18:00 観覧料 無料

副島種臣書の全貌を3期にわたって展観

I 明治前期 2023.10.6 [金]—11.5 [日]	II 明治中期 11.8 [水]—12.10 [日]	III 明治後期 12.13 [水]—2024.1.14 [日]
----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------

石川九楊講演会「だれも知らない明治維新」

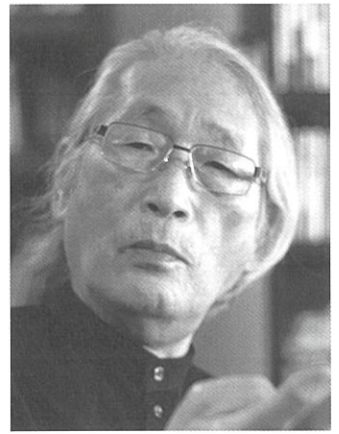
日時 | 2023年10月28日(土) 13:30-15:00

会場 | 当館外御書院

予約開始日 | 2023年9月1日(金) 聴講無料

申し込み | 佐賀城本丸歴史館ホームページの専用フォームから 申し込み順先着 200名

石川九楊略歴 京都精華大学名誉教授。1945年福井県生まれ。京都大学法学部卒業。1990年『書の終焉 近代書史論』（同朋舎出版）でサントリー学芸賞、2002年『日本書史』（名古屋大学出版会）で毎日出版文学賞、同年日本文化デザイン賞、2009年『近代書史』で大佛次郎賞を受賞。2017年東京上野の森美術館にて『書だ！石川九楊展』を開催。石川九楊2024「面白きこともなき世を面白く」プロジェクトを展開中。



歴史館ゼミナール②

全心の書

日時 | 2023年11月18日(土) 13:30-15:00

講師 | 福井尚寿(佐賀県立博物館・佐賀県立美術館館長)

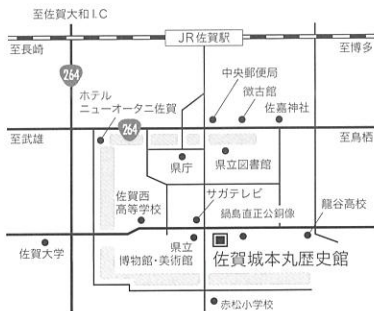
歴史館ゼミナール③

よくみて蒼海 展示作品の楽しみ方

日時 | 2023年12月23日(土) 13:30-15:00

講師 | 谷頭舞姫(当館学芸員)

会場：当館外御書院 聴講無料 詳しくは佐賀城本丸歴史館ホームページで。



佐賀城本丸歴史館ホームページ



佐賀城本丸歴史館 検索

- ・JR佐賀駅から市営バス「博物館前」下車徒歩1分、「サガテレビ前」「佐賀城跡」下車徒歩3分
- ・佐賀大和I.Cから車で約20分



佐賀県立 佐賀城本丸歴史館

SAGA CASTLE HISTORY MUSEUM

TEL 0952-41-7550 FAX 0952-28-0220

〒840-0041 佐賀市城内 2-18-1

E-mail rekishikan@pref.saga.lg.jp

「だれも知らない維新 副島種臣書」展記念出版

知られざる明治維新——副島種臣書

石川九楊 編

副島種臣は明治政府の政体を構想し、外交に活躍した。明治六年政変以降は一等侍講として明治天皇の寵愛を受けたものの、政府に参与することは乏しかった。しかし、新しい日本への理想は生涯ついでることはなく、種臣の理想と挫折はその書として結晶している。副島種臣の書を追いつづけてきた石川九楊の賞鑑を経たおよそ50点を精選、カラー図版で収録。常識を大きく超脱する種臣の書の解剖を試みる。

定価 2,200円(税込) A4判変型(297×220mm)・96ページ ISBN978-4-905172-18-5

2023年10月6日刊 佐賀県立佐賀城本丸歴史館発行



副島種臣書(杜甫曲江对酒句) 桃花細逐楊花落、黃鳥時兼白鳥飛。

佐賀の人物を紹介する「佐賀偉人伝」シリーズ第12冊
副島種臣 森田朋子・齋藤洋子 著

欧米列強からも喝采を浴びた副島種臣の外交上の功績や、政府に注視された政治活動を軸に、知識人たちに敬仰された巨大な姿を追います。

定価 1,047円(税込) A5判・112ページ ISBN978-4-905172-11-6

▼ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

知られざる明治維新——副島種臣書 (冊)

ご住所 (〒)

佐賀偉人伝 12 副島種臣 (冊)

お名前 (フリガナ)

お電話番号

上記内容を申し込みます。